

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 5 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 東京都千代田区九段南1-1-10

氏 名 国家公務員共済組合連合会
理事長 松元 崇

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 03-3222-1841

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒102-8081 東京都千代田区九段南一丁目1番10号
氏 名	国家公務員共済組合連合会 理事長 松元 崇

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	コッカコウムインキョウサイクミアイレンゴウカイ ヨコハマミナミキョウサイビョウイン
病院名	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

3 所在地

〒236-0037 横浜市 金沢区六浦東一丁目21番1号 電話：045-782-2101
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	565床	565床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>20</u> 床 (主な設備) 患者監視装置(セントラルモニタ)、人工臓腑、救急蘇生装置(気管挿管器具、気管切開器具、用手人工呼吸バック等)、人工呼吸器、除細動器、ポータブルX線撮影装置、体外式ペースメーカ、血液凝固時間測定装置、シリンジポンプ、輸液ポンプ、輸血用冷凍冷蔵庫、十二誘導心電計、生体情報連続モニター(心電図、圧3チャンネル、パルスオキシメータ)、深部体温測定装置、酸素濃度計、気管支鏡、心拍出量計、混合静脈血酸素飽和度モニター、体温調節装置、超音波診断装置、无影灯、IABP、PCPS、血液ガス分析装置、陰圧換気可能個室
化学検査室	(主な設備) 生化学検査自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖分析装置、HbA1c分析装置、血液ガス析装置、血中総ビリルビン値定量計、アンモニア専用測定装置、血球計数装置、血液凝固分析装置、赤血球沈降速度測定装置、尿検査装置、便潜血測定装置、臨床化学分析装置、浸透圧計、輸血検査装置、尿沈査測定装置、顕微鏡、冷却遠心機
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム、全自動血液培養、抗酸菌培養装置、全自動遺伝子検査装置、呼気中13CO2分析装置、ESアナライザー、安全キャビネット(クラスII)、冷却遠心機、生物顕微鏡
病理検査室	(主な設備) 凍結標本作製装置、密閉性自動包埋装置、プレパラート自動封入機、自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結ブロック作製装置、臓器写真撮影装置、卓上プッシュプル型換気装置、光学顕微鏡、デジタルカメラ付き顕微鏡、包埋センター、マイクローム、遠心機、スライドガラスプリンタ、超低温フリーザー、大型プロジェクター、バイオハザード対策用キャビネット、定温乾燥機、卓上型空気浄化装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、遺体保管用冷蔵庫、臓器写真撮影装置、卓上プッシュプル型換気装置、除菌・脱臭装置
研究室	(主な設備) パソコン1台
講義室	収容定員 <u>210</u> 人 室 数 <u>5</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>6,819</u> 冊程度 雑 誌 <u>1,007</u> 誌

施設名	施設概要
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>1</u> 台 (内訳: <u>救急車1台</u>) (主な設備) AED付生体監視モニター、酸素ボンベ、吸引器、バックボード、ポータブル人工呼吸器、医療携行バッグ
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>19.1</u> m ² 【共用室の場合】 <u> </u> 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	86.9%
	①紹介患者数	16,574人
	②初診患者数	26,186人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	5,533人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	1,573人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	124.5%
	⑦逆紹介患者数	23,750人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	155人	歯科医師	3人	看護師	87人
薬剤師	31人	臨床検査技師	25人	臨床工学技士	12人
診療放射線技師	28人	保健師	10人	看護補助者	2人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	20床
専用病床	20床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用 の可否
ICU/CCU	455.3㎡	<p>(主な設備) 病床数:10床(オープン室:7床、個室:3床うち1床は陰圧換気可能) 電源、空調、給排水、医療排水、医療ガス、照明および環境制御システムは、設置要件を満たしている。 (主な医療機器) 患者監視装置(セントラルモニタ)、人工臓器、救急蘇生装置(気管挿管器具、気管切開器具、用手人工呼吸バック等)、人工呼吸器、除細動器、ポータブルX線撮影装置、体外式ペースメーカー、血液凝固時間測定装置、シリンジポンプ、輸液ポンプ、輸血用冷凍冷蔵庫、十二誘導心電計、生体情報連続モニタ(心電図、圧3チャンネル、パルスオキシメータ)、深部体温測定装置、酸素濃度計、気管支鏡、心拍出量計、混合静脈血酸素飽和度モニタ、体温調節装置、超音波診断装置、無影灯、IABP、PCPS、血液ガス分析装置</p>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
HCU	470.4㎡	<p>(主な設備) 患者監視装置(セントラルモニタ) 超音波診断装置、除細動器、ポータブルX線撮影装置、体外式ペースメーカー、血液ガス分析装置、血液凝固時間測定装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸血用冷凍冷蔵庫、生体情報モニター、十二誘導心電計、陰圧換気可能個室、人工呼吸器</p>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	1,316.8㎡	<p>(主な設備) 手術用ベッド、手術症頭微鏡、人工心肺装置、超音波手術装置、ポータブルX線撮影装置、生体情報モニター、全身麻酔器、無影灯カメラ装置、自己血回収装置、電気メス、内視鏡下手術システム、白内障手術装置、手術用ドリルシステム、血液ガス分析装置、温風式患者保温装置、ステルスステーションナビゲーションシステム、手術症ロボット手術ユニット(ダヴィンチ・MAKO)、ツリウム・ヤグレーザー、術中神経モニタリングシステム・外科用イメージ装置・O-armイメージングシステム・ICG蛍光ナビゲーション超音波装置</p>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救命救急センター	416.0㎡	<p>(主な設備) 診察室、安静ベッド、医療用ガス供給装置、無影灯、生体情報モニター、腹部超音波診断装置、心臓超音波診断装置、除細動器、麻酔器、移動用人工呼吸器、血液ガス分析装置、バイポーラ、咽頭喉頭ファイバー、クリーンパーテーション、PCR検査機(LIAT)</p>	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

施設名	床面積	設備概要	24時間使用 の可否
救命救急病棟	543.0㎡	(主な設備) 陰圧個室、超音波診断装置、除細動器(体外ペースメーカー付)、生体情報モニター、十二誘導心電計、シリンジポンプ、輸液ポンプ、へパ(H EPA)フィルター、ポータブルX線装置、特定加温装置システム□	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
MRI検査室	120.4㎡	(主な設備) MRI撮影装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT撮影室	76.6㎡	(主な設備) CT撮影装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
血管造影室	397.5㎡	(主な設備) 血管造影装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
内視鏡室	252.8㎡	(主な設備) 移動式検査台、生体モニター、高解像LCDモニター、高周波焼灼装置、内視鏡ビデオスコープ(消化器・気管支)、超音波内視鏡スコープ、内視鏡ビデオシステムセンター、超音波内視鏡システム、光輝度光源装置、内視鏡用送水ポンプ、内視鏡用炭酸ガス送気装置、内視鏡洗浄消毒装置、无影灯、X-TV室(放射線科)、医療用ガス供給装置、気管支サーモプラスティ用カテテルシステム、小腸鏡用バルン送気装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
透析センター	464.4㎡	(主な設備) 透析用監視装置、個人用透析装置、血漿交換装置、持続血液濾過装置、生体情報モニター、医療用ガス供給装置、除細動器、十二誘導心電計、パルスオキシメーター、超音波診断装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、スケールベット、CAPD室、自動腹膜灌流装置、無菌接合装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
化学検査室	341.3㎡	(主な設備) 生化学検査自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖分析装置、HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、血中総ビリルビン値定量計、アンモニア専用測定装置、血球計数装置、血液凝固分析装置、赤血球沈降速度測定装置、尿検査装置、便潜血測定装置、臨床化学分析装置、浸透圧計、輸血検査装置、尿沈査測定装置、顕微鏡、冷却遠心機	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
細菌検査室	80.0㎡	(主な設備) 全自動細菌検査システム、全自動血液培養、抗酸菌培養装置、全自動遺伝子検査装置、呼気中13CO2分析装置、ESアナライザー、安全キャビネット(クラスII)、冷却遠心機、生物顕微鏡	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
生理検査室	275.2㎡	(主な設備) 心電計、2誘導ホルター心電計、12誘導ホルター心電計、ホルター心電図解析装置、超音波診断装置、血圧脈波検査装置(PWV)、脳波計、皮膚灌流圧検査装置(SPP)、呼吸機能検査装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> (心電図のみ)
高気圧酸素室	40.8㎡	(主な設備) 高気圧酸素治療装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院 神奈川県告示 第119号(令和5年3月28日) 救急告示年月日(昭和43年2月23日 神奈川県告示 第273号) 横浜市二次救急拠点病院Aとして、平成22年4月より参加 救命救急センターとして、平成28年4月1日より参加 全診療科24時間365日重症救急患者の受入体制に対応している

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	8,593人
	(5,533人)
上記以外の救急患者の数	5,489人
	(4,362人)
合計	14,082人
	(9,895人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,768,664人
C：A/B×1,000>2	0.0

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	65施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	65施設
医療機器共同利用件数	1,431件
共同利用病床数	0床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

【別紙1】参照

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	369施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

【別紙2参照】

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	28回
(2) (1)の研修参加者数	698人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂棟2階講堂	357.60㎡	(主な設備) 長机・椅子・マイク等音響設備・プロジェクタ・スクリーン
第一会議室	62.90㎡	(主な設備) 長机・椅子・プロジェクタ・スクリーン
研究室	14.24㎡	(主な設備) パソコン
図書室	97.20㎡	(主な設備) 電子カルテ用PC、インターネット用PC、カラー複合機、大判プリンター、電動移動書架

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	病院長	
管理担当者(役職名)	各部署責任者	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者 に係る入院期間中の診療経過の要約)	各部署、システムサーバー	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室
	救急医療の提供実績	経営企画課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域連携室及び各担当部署
	閲覧実績	診療情報管理科
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域連携室、経営企画課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	診療情報管理科部長		
閲覧担当者(役職名)	診療情報管理科事務課長		
閲覧の求めに応じる場所	診療情報管理科		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>第1回(令和6年6月13日開催)</p> <p>①現況報告 ②脳神経内科よりお知らせ ③看護部よりお知らせ ④放射線科よりお知らせ ⑤各委員よりお知らせ</p> <p>第2回(令和6年9月12日開催)</p> <p>①統計報告 ②がん相談支援センターよりお知らせ ③各委員よりお知らせ</p> <p>第3回(令和6年12月12日開催)</p> <p>①統計報告</p> <p>第4回(令和7年3月6日開催)</p> <p>①現況報告 ②眼科よりお知らせ ③入退院調整室よりお知らせ ④各委員よりお知らせ</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
患者相談を行う場所	「その他」記入欄 医療社会福祉相談室、在宅医療室、がん相談室、病棟の面談室、外来棟面談室
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	MSW、入退院相談室(看護師)、地域支援センター(事務員)
患者相談件数	11,937件
患者相談の概要	
<p>○患者相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取次・伝言・預かり 324件 ・場所・受診行動 854件 ・事務手続き関連 24件 ・受診療養に関する相談 278件 ・社会福祉に関する相談 21件 ・検査に関する相談 1件 ・栄養に関する相談 1件 ・処方箋の取扱い 2件 ・がん支援に関する相談 7件 ・苦情 64件 ・その他 65件 <p>○医療社会福祉相談室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診入院を伴う問題 128件 ・経済問題 219件 ・在宅療養上の問題 51件 ・入院生活上の問題 71件 ・在宅 732件 ・転院 7,992件 ・施設入所 751件 ・心理的問題 14件 ・虐待 80件 ・家庭内暴力・不登校 0件 ・がん相談支援 89件 ・その他 169件 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	公益財団法人日本医療機能評価機構より令和4年5月に評価を受けた。		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	<p>①広報誌「NEWネットワーク」:年3回発行 医療機関向けに各科紹介や当院のトピックス等を掲載し送付。</p> <p>②ホームページ かかりつけ検索機能を活用し、登録医紹介をおこなっている。 地域医療従事者向け研修会案内を掲載。</p> <p>③市民公開講座の開催 計3回開催(院内2回、院外1回)。計264名の参加。</p> <p>④診療のご案内の発行:年1回 各診療科の紹介。</p> <p>⑤広報誌「ともに」の発行:不定期 地域住民向けの情報を掲載し配付。</p>		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	地域支援センター内で主に退院調整、在宅療養調整を行うため、看護師と医療ソーシャルワーカーが配置されている。入退院調整室、外来、病棟と連携を図り、入退院システムに沿って入院前から退院まで切れ目のない支援を実践している。病気や障害を持ちながら地域で暮らし続けるために、患者や家族の意向に沿った場で生活できるように、多職種で問題や課題を共有し、意思決定支援や自立支援を行なっている。また、地域の医療機関や在宅チームと連携を図り、退院後も患者や家族が必要なケアを受けられるように調整している。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がん地域連携クリティカルパス【胃がん内視鏡治療、胃がん術後、大腸がん、肺がん、前立腺がん】 ・大腿骨地域連携パス 		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<p>・がん地域連携クリティカルパス 平成24年に運用開始し、現在進行しているパスは胃がん術後・大腸がん・肺がんとなっており、地域連携室にてがんパス患者の動向を追跡している。近年がん診療連携の一般化により、通常の退院後の診療情報提供書の徹底や逆紹介など、パス以外を用いて医療機関との連携を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大腿骨地域連携パス <p>年3回連携医療機関とカンファレンスを実施。</p>		

横浜南共済病院共同利用制度運用規程

第1条 総則

1. 目的

この規程は、横浜南共済病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を近隣地域（横浜市南部・横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町をはじめとした病院の近隣地域をいう。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした共同利用の場として（以下「共同利用制度」という。）開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の資質の向上を図り、地域医療の発展に貢献することを目的とする。

2. 共同利用制度

共同利用制度は、次の種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療機器利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用

3. 共同利用制度についての遵守事項

連携登録医（以下「登録医」という。）は、病院内において次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、事前に申請を行い当日は地域連携室にて受付し利用する。
- (2) 来院時、病院が支給する白衣及び「連携登録医証」を必ず着用する。
- (3) その他、病院内の諸規則を遵守する。

4. その他

- (1) 共同利用制度を利用する登録医に対しては、その目的に鑑み報酬等を支給しないものとする。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。
- (3) 共同利用制度の実施に伴い運用規程に定めのない事項に関し疑義が生じた場合は、関係者の協議により決定するものとする。

第2条 紹介患者診療型共同利用

1. 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である連携登録医等と病院主治医が共同して、当該患者の検査、処置、指導等を行うことにより、退院後の登録医への円滑な連携及びより良い医療の提供を目的とした診療型の共同利用をいう。

2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、連携登録医療機関の登録医とする。

3. 開放病床

- (1) 登録医が使用できる開放病床は 2床とする。
- (2) 登録医は病院の開放病床に自院の患者を入院させ、病院主治医と共同で診療にあたることができる。
- (3) 上記についての共同利用時間は、原則として平日（休診日を除く）の診療時間内（9：00～17：00）とする。ただし、事前に調整した場合はこの限りではない。

4. 事前調整

登録医が紹介入院となった患者に対して共同診療を行う場合は、予め地域連携室へ申し込み、事前調整しなければならない。

5. 診療録への記載

登録医は所定の記録用紙に記載する。病院主治医は、登録医の求めに応じて必要と思われる診療行為を病院の電子カルテに記載する。

第3条 医療機器利用型共同利用

1. 医療機器利用型共同利用の内容

地域医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医と病院主治医が連携し、病院内の医療機器を共同利用することにより、検査後の登録医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

2. 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、連携登録医療機関の登録医とする。

3. 対象医療機器等

(1) 放射線施設における各医療機器

- ① エックス線撮影装置
 - 単純X線撮影装置
 - 乳房X線撮影装置
 - パノラマX線撮影装置
 - 骨密度測定装置（DEXA）
 - コンピュータ断層診断装置（CT）
- ② 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）
- ③ 核医学診断装置（RI）

(2) 内視鏡施設における各医療機器

- ① 上部消化管内視鏡
 - 経口内視鏡
 - 経鼻内視鏡
 - 経口細径内視鏡
- ② 下部消化管内視鏡
 - 大腸内視鏡

4. 事前調整

登録医が検査目的で紹介した患者に対して共同利用を行う場合は、予め地域連携室へ申し込み、所定の手続きをしなければならない。

第 4 条 研究部門利用型共同利用

1. 研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を連携登録医療機関に開放し、連携登録医療機関の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動を互いに連携し進めるものであり、地域医療従事者の資質の向上を図るための共同利用をいう。

2. 利用できる対象者

連携登録医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者とする。

3. 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる研究部門は、図書室及び研究室とする。

4. 利用手続き

- (1) 当該部門を利用する場合にあつては、予め地域連携室へ申し込み、所定の手続きをしなければならない。
- (2) 利用については個人情報以外の情報等に限るものとする。

附則

本規程は、平成 24 年 4 月 1 日から実施する。

本規定は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

本規定は、令和 2 年 4 月 1 日から実施する。

横浜南共済病院連携登録医制度運用規程

第1条 目的

この規程は、横浜南共済病院と地域の医療機関が緊密な連携を保ち、それぞれの役割分担をしながら、患者に一貫性のある良質な医療を提供できる体制を確立するため、横浜南共済病院における連携登録医制度について定めたものである。

第2条 医療機関・医師の登録

1. 登録の手続き

連携医療機関登録医申請書により、横浜南共済病院病院長(以下、病院長)に申請するものとする。病院長は、新規の申請があったときは、登録の可否を決定し、申請者に通知するものとする。

2. 連携登録証の交付

病院長は申請書に基づき、登録する医療機関に対して「連携登録医療機関証」を交付し、登録医になろうとする医師又は歯科医師に対して医師名で「連携医療機関登録医証」を交付する。

3. 登録期間

連携登録医制度の登録期間は、登録日から登録日の属する年度末日までとし、特段の事由がない限り次年度以降において自動更新とする。

第3条 登録医内容変更・辞退

登録医は、登録の内容に変更があったとき、又は登録を辞退しようとするときは連携医療機関登録医申請書により病院長に申請するものとする。また、辞退の場合は連携登録医療機関証と連携登録医証の返還をしなければならない。

第4条 登録医の取消

病院長は登録医が、医師としての品位を損するような行為等があったとき、その連携登録医療機関を取り消しすることができる。なお、連携登録医療機関に所属する看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為等があったときも同様とする。

第5条 登録医の待遇

登録医は以下の待遇を受けることができる。

- ・連携登録医療機関としての紹介（登録医療機関一覧の院内掲示、ホームページ）
- ・医療従事者向けの研修会・講演会への参加
- ・診療体制等の案内送付
- ・広報誌の送付
- ・横浜南共済病院共同利用制度の利用
- ・地域医療連携ネットワークの利用
- ・登録医専用ホームページの閲覧・利用

附則

本規程は、令和2年4月1日から実施する。

No.	開催日	研修名	演題	医療機関数	参加人数
1	2024/4/16	産婦人科地域医療連携フォーラム（ハイブリッド開催）	①「最近の婦人科手術治療について～内視鏡手術を中心に～」 ②「当院における卵巣癌治療の現状」	18	30
2	2024/4/25	地域で心臓病を克服するための心臓病研修会（ハイブリッド開催）	①「血管内視鏡による全身の動脈硬化評価を考える：冠動脈ステント被覆から大動脈病変まで」 ②「心房細動と心房心筋症・DOACのリアルワールドエビデンス」	8	19
3	2024/6/20	第17回呼吸器疾患医療連携セミナー（LIVE配信）	①「抗酸菌検査と検出菌推移」 ②「検診・人間ドックで見つかる肺MAC症」 ③「肺癌治療のup date」	13	24
4	2024/6/27	心肺蘇生法及びA E D講習会		7	15
5	2024/7/16	南共済眼科手術研修会（LIVE配信）	①「横浜南共済病院における多焦点眼内レンズを用いた白内障手術の実際」 ②「横浜南共済病院における緑内障手術、硝子体手術の実際」	11	16
6	2024/7/25	アレルギー疾患研修会（LIVE配信）	①「食物アレルギーの診断と治療」 ②「アレルギー性鼻炎の治療薬選択」	14	24
7	2024/8/22	認知症診療研修会（ハイブリッド開催）	①「認知症の病態と臨床」 ②「アルツハイマー型認知症の最新治療」	13	44
8	2024/9/10	糖尿病地域連携ネットワーク研修会（ハイブリッド開催）	①「当科での糖尿病治療について」 ②「腎機能を考慮した臨床糖尿病学とSGLT2阻害薬の新たな知見～効果的な運動療法と指導のポイントも交えて～」	25	48
9	2024/9/17	がん化学療法に関する研修会（LIVE配信）	「肺がんの化学療法」	7	18
10	2024/9/19	横浜南循環器談話会（ハイブリッド開催）	①「心房細動のカテーテルアブレーション Update2024」 ②「VTEクリニカルパス診療」 ③「超高齢化社会における健康寿命延伸のため心房細動包括的治療～最新のガイドランフォーカスアップデート版から～」	8	18
11	2024/9/26	第4回消化器内科クリニカルカンファレンス（ハイブリッド開催）	①「当院における肝疾患治療と肝日常診療UP to Date」 ②「潰瘍性大腸炎の最新治療～診断基準・治療指針を読み解く～」	12	22
12	2024/10/15	Neurology Conference（ハイブリッド開催）	「当院における神経免疫疾患治療の取り組み」	7	9
13	2024/10/17	最新の前立腺がんの診断と治療（ハイブリッド開催）	①「最新の前立腺がん診断法」 ②「ロボット支援下手術」 ③「進行前立腺がんの薬物療法」	10	18
14	2024/10/29	横浜南地域医療セミナー 急性骨髄性白血病の診断と治療（ハイブリッド開催）	①「貧血の診断と治療 鉄欠乏性貧血を中心に」 ②「分子標的薬時代の"FLT3-ITD陽性急性骨髄性白血病に対する治療戦略」	14	24

No.	開催日	研修名	演題	医療機関数	参加人数
15	2024/11/12	第5回緩和医療連携セミナー	「医療者でも安心！？あなたの地域で最後まで安心して生きるための方策を緩和ケアと共に鑑みる」	11	36
16	2024/11/19	感染対策研修会（ハイブリッド開催）	「身近になりつつある感染症「梅毒とHIV」」	20	28
17	2024/11/21	地域で心臓病を克服するための心臓病研修会（ハイブリッド開催）	①「EVT 治療における最新のトレンド」 ②「StageA から はじめる心不全 診療～ ARNI がもたらす日本人高血圧の新たな治療戦略 ～」	11	22
18	2024/11/22	褥瘡対策研修会（L I V E 配信）	「最新の褥瘡治療」	19	49
19	2024/11/28	放射線治療研修会（L I V E 配信）	「放射線治療の使い分け」	8	23
20	2024/12/10	横浜南共済病院緩和ケア病棟意見交換会（ハイブリッド開催）	①「緩和ケア病棟の運用状況」 ②「面談申し込み方法など運用の変更について」 ③「その他の概要について」 ④「意見交換」	11	14
21	2024/12/19	Clinicopathological conference (CPC)	①「重症感染症の1例」 ②「同種造血幹細胞移植後晩期合併症の1例」	14	23
22	2025/1/16	第18回呼吸器疾患医療連携セミナー（LIVE配信）	①「外来呼吸リハの可能性と課題について」 ②「間質性肺炎とは何か？」 ③「膠原病と肺癌」	14	29
23	2025/1/23	消化器疾患内科・外科・病理カンファランス（ハイブリッド開催）	①「胆嚢癌との鑑別に難渋した黄色肉芽腫性胆嚢炎の1例」 ②「潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎に合併した無菌性胆嚢膿瘍の1例」 ③「EMR施行4年後に再発を認めた追加治療考慮因子を有さないpT1a直腸RS癌の一例」 ④「出血コントロール手術に至った小腸過誤腫性血管・リンパ管腫の一例」	7	16
24	2025/1/30	第48回横浜南循環器談話会（ハイブリッド開催）	①「Excimerlaser coronary atherectomyによる焼灼効果をmulti imaging modalityにて観察し得たステント内再狭窄の1例」 ②「急性上腸間膜動脈閉塞症に対する治療」 ③「太田記念病院のCLTI患者への取り組み千里の道も一歩から」	13	30
25	2025/2/14	フットケア講演会（LIVE配信）	「現在の足白癬・爪白癬の診断・治療」	10	13
26	2025/2/18	がん治療における周術期口腔機能管理研修会（LIVE配信）	①「がん治療で歯科は武器になるか？」 ②「実践的周術期口腔ケア」	24	38

No.	開催日	研修名	演題	医療機関数	参加人数
27	2025/2/27	第5回横浜南リウマチ・膠原病地域連携の会（ハイブリッド開催）	「関節リウマチと間違いやすい病気・その見分け方」	7	13
28	2025/3/12	第5回横浜南部認知症研修会（LIVE配信）	①「身体拘束ゼロに向けて～看護部および認知症ケアチームの取り組み～」 ②「明日から取り組む身体拘束最小化～東京都立松沢病院の経験を踏まえたその先にあるもの～」	23	35